



環境にやさしいカードゲーム

—環境学習カードゲーム「ベリーくるちょ」完成!—

ゲーム感覚で環境にやさしい行動を学べるカードゲーム「ベリーくるちょ」が完成しました。「マイバッグを使おう」等、環境に配慮したカードを選択し、コインを貯めてゴールを目指します。「ベリーくるちょ」という名称は、市のシンボルキャラクターである「ベリーちゃん」と「ベリーグッド」を掛け合わせ、そこに「COOL CHOICE(地球温暖化対策のための賢い選択)」を合わせたもの。ゲームをすることで、実生活での行動の変化を期待します。

地域防災をテーマに意見交換

—「かぬま“夢”談議」(菊沢きずなプロジェクト)—

1月25日に市役所で、市長と市民が市政について直接意見交換を行う「かぬま“夢”談議」が開催されました。

今回、参加したのは菊沢地区を中心に地域の防災啓発に取り組む「菊沢きずなプロジェクト実行委員会」の皆さん。小中学生向け防災教室などの活動事例を交えながら、災害時における自助・共助の取り組みなどについて話し合い、考えを深めました。



災禍に立ち向かった歴史をたどる

—「災禍の祈り展」—

2月3日～13日に市民文化センターで、鹿沼まるごと博物館(地域資源を含めた総合的な博物館活動)の第7回企画展となる「災禍の祈り」が開催されました。

内容は、鹿沼の人々が災害や疫病にどのように立ち向かい、平安への祈りを捧げてきたのかをたどるもので、晴天を象徴する白馬を描いた常楽寺録事堂絵馬をはじめ、縄文時代から現代にわたる多くの資料が紹介されました。



協働・共創の輪が広がる

—「地域で輝くふくしのチカラ大賞」

市内3団体が受賞—

2月15日、地域での公益的な取り組みを表彰する「地域で輝くふくしのチカラ大賞」(県主催)において、市内3団体が受賞しました。

最優秀賞を受賞したのは、住民主体の移送サービスを行う「スマイルきくさわ第2層協議体」。優秀賞には、子どもの社会体験事業を運営する「NPO法人プロジェクト宙 子どものまちミニかぬま実行委員会」と、閉館した児童館を活用し居場所づくり支援を行う「南押原友遊館管理運営協議会」の2団体が輝きました。

市においても、このような地域が協働して行う取り組みへの支援を通じて、「共創」のまちづくりを推進していきます。

